令

和

東京若手議員の会　活動方針2019

　令和が始まり、またオリンピックパラリンピックを一年後に控える２０１９年、平常時とは違う街の景色が広がるかと思います。浮足立つ街を見守りつつ、我々は東京都内の基礎自治体議員として、何をしていくべきなのか常に自問自答しながら進めていきたいと思います。

昨今の地方議会のなり手不足という課題は都市部には当てはまらないものの、議員の不祥事や議会改革が進まない自治体も多く、市民からの“議会は何をするひとぞ？”という疑問と無関心がはびこっていると感じています。

　若手議員が市民から期待されていることは人それぞれ違うと思いますが、当会では以下の活動方針をもって、議員の仕事を市民に認識いただけるよう努力していきたいと思う。

* 社会課題に対する視察や研修を行うとともに、自身が所属する自治体や党、また政治活動に活かしていく。
* 時事問題に関する視察や研修を通じて、問題の本質をとらえた質疑を各々の議会で発言する。また、その質疑内容や先行事例を持ち寄り、次の行動へとつなげる。
* 議会改革に関する視察や研修を通じて、各々の議会改革を促進する。

下線部は今年度特に、力点を置きたいところです。視察や研修という**インプットをどうアウトプットしていくか、成果に結びつけていくかを常に意識していきます。**具体的には、視察や研修を行った後にはワークショップを行い、視察テーマに対してメンバー所属の議会や自治体の状況や施策を共有し、何を提案していくのかをその場で目途をたてるなど、視察後すぐ活動できるような会を開催したいと思います。また、自己研鑽にとどまらない活動として、政策提言や意見書提出など、超党派ならではのインパクトを出していきたいと思います。議会を変え、行政を変え、社会を変えることが議員の仕事だと思っていますが、メンバーの皆さんの議員像も聞きながら、できることを形にする会でありたいと思います。よろしくお願いします。